

令和 6 年(2024 年)7 月 17 日
清 水 産 婦 人 科

理由書

医療法人双葉会清水産婦人科(有床診療所)の一般病床数を 13 から 19 床に増床申請する理由について

1、これまでの取り組み

2013 年 9 月 4 日に開院以来、分娩と不妊治療を中心に地域医療を担ってまいりました。現在の取扱分娩数は年間で 700 件前後です。

2、増床を計画するに至った経緯

近隣の産婦人科医院の院長先生が高齢となり、続々とお産の取扱いを中止または、閉院されています。10 年前に草津、栗東、守山に 8 カ所あった産婦人科医院が、2023 年 12 月には当院を含めて 4 カ所となってしまいました。

草津、栗東、守山の妊婦様が近い将来、分娩する場所が減ってしまい、自宅から遠方での分娩を余儀なくされてしまいかねない状況です。また本来、産婦人科医院で受け入れるべきリスクの少ない妊婦様が高次医療機関に流れてしまい、限りのある高次の医療資源を圧迫しかねないことも予想されます。

このような状況の中で当院が出来ることとして、少しでも当院の受け入れ妊婦様の数を増やすために、増床することを計画しています。

3、増床による影響、今後の取り組み

当院の受け入れ可能分娩数を年間 940 件まで増やすことが可能です。地域の一次周産期医療に責任を持って取り組んでまいります。

滋賀県草津市野村 3-18-5

医療法人双葉会清水産婦人科

院長 清水良彦